

令和元年9月11日
愛媛大学

令和3(2021)年度入試以降の入学選抜方法の変更について(予告)

【第三報：調査書の活用方法及び大学入学共通テスト『国語』の記述式について】

本学は第一報として、調査書等の活用についてお知らせしました(平成30年6月)。また、第二報として、大学入学共通テストの『国語』を課す全選抜で、記述式問題を活用し、その方法は段階別成績表示を点数化してマーク式の得点に加点することをお知らせしました(平成31年3月)。

これらに関連して、検討を進めた結果、下記の方針を決定しました。本内容は現時点のものであり、今後、変更となる可能性があります。詳細は、「愛媛大学入学選抜要項」(令和2(2020)年6月中旬公表予定)及び「学生募集要項」(令和2(2020)年6月下旬以降順次公表予定)等で発表します。

1 調査書の活用方法

本学では、全学部の一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜で調査書を活用します(第一報)。そのうち、一般選抜で調査書を単独で評価(点数化)する場合は、原則として、下記の方針とします。

- (1) 調査書の配点割合は、総得点の5%程度から10%程度とします。
- (2) 「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」等を評価します。
- (3) 調査書が提出できない場合は、志願者本人が作成する「活動調書」(様式は本学のホームページからダウンロード)を評価します。

- ※ 以上の方針は、理学部の平成31年度一般入試において、先行して実施しています。
- ※ 調査書単独で点数化する方式以外に、調査書を面接の参考として活用する方式や、他の書類等と併せて評価する方式もあります。(選抜の種別、学部・学科等により異なります。)

2 大学入学共通テスト『国語』の記述式の評価方法

令和3年度入試（令和3年1月実施）における大学入学共通テスト『国語』の記述式問題は、次のように点数化して利用します。

- (1) マーク式問題の配点を9割、記述式問題の配点を1割とします。
- (2) 『国語』の配点を200点とした場合、マーク式問題の配点は180点、記述式問題の配点は20点となります。この場合の記述式問題については、総合評価段階（A～E）を次のように点数化します。
A:20点、B:15点、C:10点、D:5点、E:0点
したがって、『国語』の得点は、上記の得点をマーク式問題の得点に加えたものとなります。
- (3) この方式は、一般選抜のほか、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び総合型選抜に共通です。ただし、『国語』を課さない選抜は除きます。

例1 本学の大学入学共通テスト『国語』の配点が200点であり、「マーク式問題の得点が160点、記述式問題の総合段階評価がB」だった場合。

$$160 \times 0.9 + 15 = 159$$

説明： 大学入試センターは『国語』のマーク式問題の配点を200点としています。マーク式と記述式を併せて200点として扱うため、マーク式問題の得点である160点に0.9を乗じます。これに記述式問題の得点として15点（総合段階評価Bに対応）を加えます。こうして得られた159点が『国語』の得点となります。

例2 本学の大学入学共通テスト『国語』の配点が150点であり、「マーク式問題の得点が140点、記述式問題の総合段階評価がC」だった場合。

$$(140 \times 0.9 + 10) \times \frac{3}{4} = 102$$

説明： まず括弧内を計算します。大学入試センターは『国語』のマーク式問題の配点を200点としていますが、ここでは仮にマーク式と記述式を併せて、200点として扱います。マーク式問題の得点である140点に0.9を乗じます。これに記述式問題の得点として10点（総合段階評価Cに対応）を加えます。この結果、括弧内は136となります。これは、本学の大学入学共通テスト『国語』の配点が200点である場合の得点です。実際にはこの配点は150点なので、4分の3（200分の150）を乗じた102点が『国語』の得点となります。